

平成 2 4 年度行政評価（外部評価） 議事録

議 事 概 要	
会議の名称	平成 2 4 年度行政評価（外部評価）
開催日時	平成 2 4 年 7 月 2 8 日（土） 午後 2 時 3 0 分から午後 3 時 4 5 分まで
開催場所	市役所西庁舎 3 階 研修室
出席者氏名	委員 小川 辰男 委員 中島 美幸 委員 杉本 孝司 委員 太田 孝夫 委員 中村 佐仔子 委員 佐藤 長男 業務担当課 教育文化部長 松井 豊明 教育文化部次長 布川 一重 文化の家事務局長 加藤 登美子 文化の家事務局長補佐 靱山 勝人 文化の家事業係長 遠藤 健一 事務局 企画部長 水野 正志 企画政策課長 加藤 正純 企画政策課課長補佐 飯島 淳 同担当 寺島 卓哉
傍聴者人数	1 2 名
会議の公開・非公開	公開
審議の概要	文化事業業務について
問 合 先	長久手市企画部企画政策課 0 5 6 1 - 5 6 - 0 6 0 0
備 考	

業務担当課	<平成 2 4 年度長久手市行政評価（外部評価）資料に沿って説明>
委員	年間来館者数の数え方は。
業務担当課	機械集計を行っている。3 か所の入り口で、1 回入場すればカウント 1 となる。退場する時はカウントしない。
委員	愛知県立芸術大学のオペラ公演に、市が 1 6 0 万円ほど支出している。愛知県立芸術大学はどれくらい費用を負担しているか。
業務担当課	総費用が 1, 0 0 0 万円程度と聞いており、市の負担は 1 6 0 万円程度。同程度の入場料収入をもらっている。

委員	<p>音楽デリバリー事業について、開催の決定が1か月前であり、決定後募集を行うのに苦労した。改善は行われているか。</p> <p>また、参加しているアーティストは、フルートとピアノか。</p>
業務担当課	<p>2か月前には通知するようにしているが、アーティストの予定で、1か月前になることもある。</p> <p>音楽デリバリー事業は、創造スタッフが実施しており、現在、ピアノ、フルート、チェロ、パーカッションで事業を行っている。</p>
委員	<p>文化の家までの公共交通のアクセスが悪い。何か対策を行っているか。</p>
業務担当課	<p>はなみずき通駅から文化の家が遠い。また、場所もわかりにくい。Nバスの担当課にも働きかけているが、Nバスの本数も限られており、改善には至っていない。</p>
委員	<p>平成19年の住民意識調査では、映画、コンサート、演劇の文化活動について、68%が名古屋市に出向いているという結果が出ているが、どう考えるか。</p>
業務担当課	<p>文化の家に参加する人の所在地の把握はできないが、例えば、利用者登録している人は半数が長久手市の人となっている。</p> <p>推定であるが、年間50万人が来館するので、そのうち半数は市内の人が来館しているのではないかと思う。</p>
委員	<p>行政評価票に記載された問題点に、長期的な取組で、結果がでるまで時間がかかるとあるが、どういうことか。</p>
業務担当課	<p>文化の家に来館している人は、何回でも来館するが、これまで来館したことがない人がいかに足を運ぶかが重要である。来館したことがない人が来館するまでには、時間がかかる。その下地を作るために、で・あーとなど児童を対象にした事業などを行っている。</p> <p>文化芸術振興基本法の基本理念の「芸術文化の振興を図ることによって、活力ある地域生活の実現」ということが最終目標であり、その達成には時間がかかる。子どもの時から文化活動に親しむことで、文化の家に親しみを持ってくれるのではないかと考えており、そういった意味で成果が出るまでに時間がかかると記述した。</p>
委員	<p>成果指標のホール公演事業定員充足率などの実績は、数字としてよいものなのか、わるいものなのか。</p>
業務担当課	<p>国の指針などによれば、6割以上の定員充足率であれば合格と定めているが、現場としては、目標として100%を目指すべきだと</p>

	<p>思う。</p> <p>映像鑑賞会事業については、定員100名の光のホールで行っており、定員いっぱい入れてしまっは窮屈なので、50名から60名程度の入場がちょうどよいのではないかと考えている。</p>
委員	<p>ホール公演について、全体の定員充足率はよいが、個々の事業ではよくなかったものもあったと思う。そういった事業について、どのような検討を行ったか。</p>
業務担当課	<p>お客が入る事業イコールよい事業とは考えていない。実施してお客が入る事業であれば、民間で実施してもよいという見方もある。目的が重要であり、来場する方の要求に応え、創造性といった知的な部分を向上させるといったことが重要であると考えている。</p> <p>しかし、事業を宣伝し、多くの人に知ってもらうことは重要である。</p>
委員	<p>費用対効果の面もある。税金を使っている以上、収入と支出がとんとんとまではいかににしても、そのバランスを考え、その上で満足度の向上を求める必要はないか。</p> <p>宣伝はどのように行っているか。</p>
業務担当課	<p>よい事業かどうかは結果である。また、よい事業には有名な人が出演しており、費用や受益者の負担が大きくなる。そのあたり収支のバランスをみながら調整をしている。</p> <p>宣伝については、文化の家の事業係と管理係が行っている。</p>
委員	<p>事業の担当者と宣伝の担当で、PRする内容などすり合わせを行っているか。</p>
業務担当課	<p>事業の担当者が宣伝の担当者となっている。</p>
委員	<p>宣伝をするにあたり、だれを対象に、どういった内容でPRしていくかということについて、横の連携はしているか。</p>
事業担当課	<p>文化の家の課内でやれることは限られているが、行っている。</p>
委員	<p>文化の家の事業の回収率は38%程度であり低いものとなっている。毎年実施している事業もいくつかある。毎年の実績も出ている。回収率や入場率の実績を検証し、また、住民が求めている内容は何かを検証しながら次年度の編成を行っているか。それは企画会議のように、複数の人間で検討されたものなのか。</p> <p>また、回収率の低いものについては、どのように考えているか。</p>

業務担当課	<p>事業係で企画の素案を作る。内容が確かなものでないといけないので、素案を作る前に事業の下見やリサーチを行う。その後、委員会にかけ検討を行っている。</p>
委員	<p>従来から実施しているものについて、変更は行っているか。30%の回収率でも、文化的価値があるからよいとしてはすまされない。40%でも目指すべきである。</p> <p>また、販売の仕方や宣伝の仕方も重要である。そのあたり考え方があったら教えてほしい。</p>
業務担当課	<p>ベストな方法はないが、これからの主流はネット販売ではないかと思う。ただ、市のシステムの事情もあるので、検討が必要である。</p>
委員	<p>宣伝に関して、ホームページから情報を得るが、ホームページの体裁がよくない。可見市などは財団法人が運営していることもあるが、文化の香りのする充実したホームページとなっている。</p> <p>文化の家のホームページの体裁は、事業内容に比して見劣りがする。宣伝についてホームページが重要であると考えているがどうか。</p>
業務担当課	<p>通り一辺倒の宣伝しかできていない。文化の家開館時には、フラッシュなどを使い見せ方に工夫ができた。しかし、平成20年に、市と文化の家のサーバーが同一になった。今のホームページでできることは、今やっていることが精いっぱい。これ以上はサーバーを変えないといけない。</p>
委員	<p>そうであれば、予算的な検討も進めていかないといけないのではないか。これだけの事業を実施しているのに、市と同じ体裁のホームページでは寂しい。</p> <p>また、ネット販売などは必要であると思う。ニーズをしっかりと吸い上げることが重要である。</p>
業務担当課	<p>宣伝について、市にサーバーが入る前から文化の家にはサーバーがあったので、独自のホームページを持っていた。しかし、市にサーバーが入り、文化の家と統合された。</p> <p>例えば、観光交流推進会議のホームページのアクセス数は多い。それは、ブログやツイッターなどを活用しているからである。そのようにできる限り、お金をかけないで実施できる方法もあると思う。文化の家には、フレンズという市民組織もあるので、そのネットワークを活用しながら、PRを進めていきたい。</p>
委員	<p>文化の家の取組を地域に広げていくプロデューサーが必要である。私見であるが、そのようなことを担当する専任の職員が必要で</p>

委員	<p>ないか。</p> <p>文化の家は、場所としては近隣の市町には認知されていると思う。ただ、事業内容についてはあまり知られていないというのが現状ではないかと思う。</p> <p>これだけ素晴らしい事業を実施しているのに、企画や宣伝について、それを担う人員、ツールもないのは問題ではないか。今後の課題について、評価票にあるような抽象的な問題ではなく、個々の具体的な課題を解決していく必要がある。</p>
委員	<p>事業説明に所定の倍の20分を費やし、議論の時間が削られることとなった。会議の臨み方に問題がある。</p> <p>今後の改善点について、評価票には、「現行通り実施」とあるが、実際に具体的な改善点がいくつも出てきた。そのあたり評価票にも記述していく必要があると思う。説明の中にも「事業の内容について自負している」という言葉があったが、そのあたりにも問題があるのではないか。</p>
委員	<p>文化の家は、文化マスタープランに基づいて設立されており、マスタープランに基づいて文化振興を実施していく必要があると思う。</p> <p>文化の家では、事業公演等に3,900万円がかかっている。</p> <p>平成22年度のデータだが、人件費に1億1,500万円、事業費に6,605万円、施設管理や創造スタッフの委託料に1億7,200万円、うち施設管理は1億3,000万円程度がかかっている。年間4億円弱かけているのに、実際事業公演等には3,900万円しかかけていない。</p> <p>しかし、3,900万円と言えども、民間と同じように回収率を高める努力を行ってほしい。このあたりは、事業を選定する企画段階から関わってくることで、ある意味経営管理と言えるので、一担当者の問題とせず、しっかり考えてほしい。</p>
委員	<p>映像鑑賞について、光のホールには臭いの問題があると思う。一度確認してもらいたいと思う。</p>
業務担当課	<p>確認します。</p>
委員	<p>成果について、充足率など現れていない指標があった。もう一度表現を考えてもらいたい。</p>
業務担当課	<p>事業説明の中で、映像に時間をかけて説明が長くなってしまった点については、お詫びを申し上げる。</p>

文化の家の方向性としては間違っていないと思う。その意味で総合評価を A とした。今後は教育委員会に所管が移ったので、教育的な立場で子どもたちと連携ができないかということを考えながら事業を実施していきたいと思う。